

## 第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定にあたって

京田辺市は、「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、豊かな自然環境や優れた交通利便性など多くの魅力があるまちとして、令和元(2018)年6月には、人口が7万人を突破するなど、今もなお発展しているところです。

まちづくりの柱に掲げる「緑に包まれた美しいまち」を未来の世代につなげていくために、本市では、平成25(2013)年3月に京田辺市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、地球温暖化防止に向けた取組を、市民、事業者、市が一丸となって進めてきました。

そのような中、平成28(2016)年11月に、地球温暖化対策の新たな国際的な枠組みとなる「パリ協定」が発効されるなど、世界は脱炭素社会に動き出したことから、本市では、平成30(2020)年5月に当該計画を改訂しました。

また、地球温暖化や気候変動問題は、世界規模で対応が求められる地球上のすべての生き物にとって避けることのできない喫緊の課題であり、政府の「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。2050年カーボンニュートラルの実現を目指すこと。」を受け、山城地域の市長として初めて、令和3(2022)年2月に「ゼロカーボンシティ」へ挑戦する決意を表明しました。

本計画は、カーボンニュートラル実現に向け、「温室効果ガス排出を削減する緩和策」と「気候変動の影響への適応策」の両輪による推進、また、市民一人ひとりが「じぶんごと」として、取り組んでいくことを目的に開催した「京田辺気候変動市民会議」の提言を盛り込んでいます。

このまま何も行動せず、地球温暖化が進めば私たちの生命や暮らしを脅かすことになってしまうという危機感と、ゼロカーボンシティの実現に挑戦していくという目標を、市民・事業者の皆さまと共有し、一緒に行動していかなければなりません。

一人ひとりが「じぶんごと」とし、「ゼロカーボンシティ」を実現しましょう。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員の皆さまをはじめ、京田辺気候変動市民会議の参加者やアンケート等にご協力いただいた市民の皆さま、ならびに関係各位に心からお礼を申し上げます。

令和5(2023)年3月

京田辺市長

上村 崇

